

環境技術実証モデル事業ヒートアイランド対策技術分野における
平成 18 年度実証試験結果報告書について（お知らせ）

（同時資料提供 環境省）

平成 19 年 4 月 23 日

代表 連絡 先	財団法人建材試験センター 性能評価本部適合証明課 担当 島崎 TEL 03-3366-9217 e-mail: tekigou@jtccm.or.jp
---------------	---

環境技術実証モデル事業（ヒートアイランド対策技術分野）について、平成 18 年度実証試験結果報告書を取りまとめ、このたび環境省の承認を得ましたのでお知らせ致します。

1. 背景・経緯

環境技術実証モデル事業（以下、「モデル事業」という。）は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために、普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。

平成 18 年度モデル事業ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減技術）において、実証機関である財団法人建材試験センターが、「ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減技術）実証試験要領」（平成 18 年 11 月 6 日環境省公表）に基づく試験を各実証対象技術（別紙参照）について実施し、その結果を実証試験結果報告書として取りまとめました。

2. 報告書の内容

今回実証試験を行った技術は、建築物（事務所、住宅など）に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷を低減させることによって、人工排熱を低減させ、ヒートアイランド対策効果が得られるもの（ただし、緑化は除く）です。今回の実証試験により、空調負荷低減性能等について確認しました。

各技術毎の詳細な実証試験結果報告書等は、環境技術実証モデル事業ホームページ（URL http://www.env.go.jp/policy/etv/02_list_b.html）から自由にダウンロードして頂くことができます。

なお、モデル事業による技術実証の結果は、環境技術の性能を保証するものではなく、一定の条件下における環境技術の環境保全効果についてまとめたものです。個々の実証対象技術についての詳しい説明等は、各メーカーに直接お問い合わせ下さい。

平成 18 年度環境技術実証モデル事業 ヒートアイランド対策技術分野
 (建築物外皮による空調負荷低減技術) における実証対象技術

環境技術開発者名	実証対象技術名
住友スリーエム株式会社	スコッチティント シルバー18AR・RE18SIAR
	スコッチティント アンバー35LE・LE35AMAR
	マルチレイヤー ナノ 70・Nano70
アキレス株式会社	アキレス サーミオンクリア
	アキレス Neo サーミオンクリア
	アキレス Neo サーミオンクリア PET-100
リンテック株式会社	ヒートカット IR-50HD
	ルミクール 1015UH
	WINCOS HCN-70
リケンテクノス株式会社	RIVEX IRCCL80
	RIVEX CR263C
	RIVEX SS50SRL
三晶株式会社	MADICO SRS-220XSR
	MADICO CK-35XSR
	SANSHO TC-75XSR
株式会社 P V J	ハニタウインドウフィルム SG06M
	ハニタウインドウフィルム SZ02M
NI 帝人商事株式会社	高透明熱線反射・断熱フィルム「レフテル」ZC05G
	高透明熱線反射・断熱フィルム「レフテル」WH03
	高透明熱線反射・断熱フィルム「レフテル」ZH05G
ベカルトジャパン株式会社	SolarGard LX70
	SolarGard Sterling 20